

都市ビジョン成果指標の達成状況

※達成状況の凡例

- ◎:実績値がH27目標値の水準に到達
- :実績値がH22目標値より改善
- △:実績値がH17基準値より改善
- ×:実績値がH17基準値より悪化
- :評価不能

①多様で豊かな環境をいかす

4つの政策のうち、「水と緑の都市」、「自然との共生」、「資源循環社会構築」に含まれる6項目の指標が平成27年度の目標値を上回りました。

政策名	成果指標の名称 (単位)	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)水と緑の都市	西川・枝川緑道公園の利用者数(人)	605 (H19)	720	750	817 (H26)	◎
	公園・緑地の整備や緑化推進の満足度 (%)	33.3	36	40	40.8	◎
(2)自然との共生	森林や野原の割合 (%)	44.8	現状値を維持(44% 台)	現状値を維持(44% 台)	44.7	◎
	ホタルの生息地 (か所)	172	現状値を維持(172 か所)	現状値を維持(172 か所)	200	◎
(3)環境先進都市	児島湖の水質(COD) (mg/l)	8.3	7.5	6.9	7.2	○
	汚水処理人口普及率 (%)	65.7	75	81	80.9	○
	地球温暖化防止行動の実践度(点)	47	50	55	54	○
	環境パートナーシップ事業に参加する市民の割合 (%)	5.1	6.3	7.5	5.8	△
(4)資源循環社会構築	市民1人1日あたりのごみ排出量 (g/人日)	1,024	999	913	852	◎
	資源化率 (%)	15.81	17.9	22.2	22.26% (H26)	◎

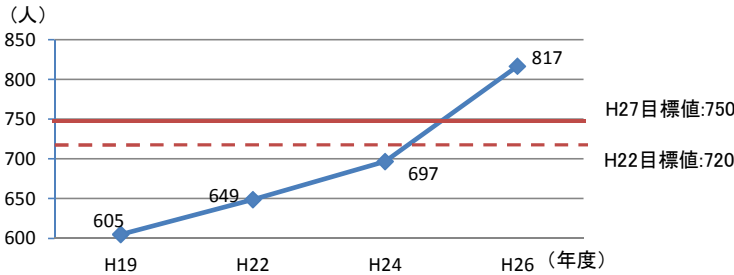
1 多様で豊かな環境をいかす

(1)水と緑の都市

①西川・枝川緑道公園の利用者数(人)

基準値	実績値			達成度
H19	H22	H24	H26	
605	649	697	817	◎

【周期】 概ね2年
 【出典】 担当課調べ
 「西川・枝川緑道公園の一日当たりの通行者数調査(野殿橋付近)」

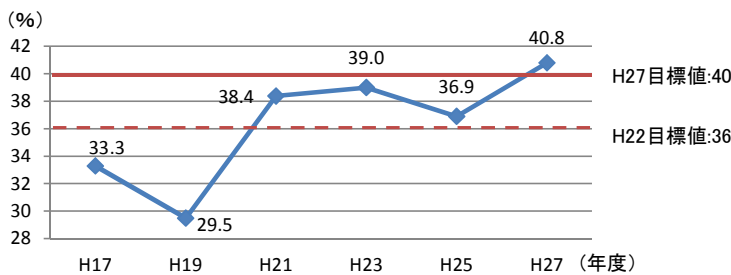


○「西川・枝川緑道公園の利用者数」は、目標値750人に対し212人増の816人と大きな成果を上げることができました。

②公園・緑地の整備や緑化推進の満足度(%)

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
33.3	29.5	38.4	39.0	36.9	40.8	◎

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「公園・緑地の整備や緑化の推進の満足度」:
 「満足」「やや満足」と回答した市民の割合



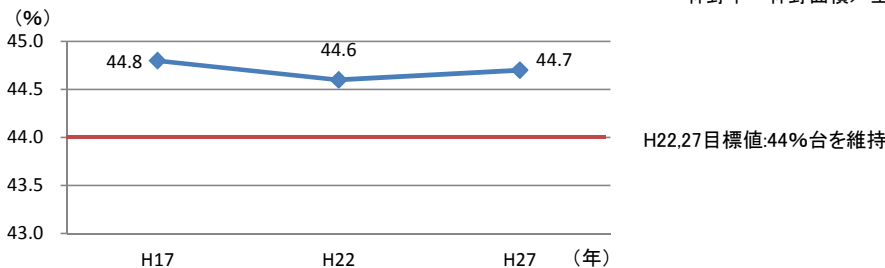
○「公園・緑地の整備や緑化推進の満足度」は40.8%で、目標値の40%を超えることができました。

(2)自然との共生

③森林や野原の割合(%)

基準値	実績値		達成度
H17	H22	H27	
44.8	44.6	44.7	◎

【周期】 5年
 【出典】 農業(農林業)センサス
 「林野面積(林野率)」
 林野率=林野面積/全市域面積



○「森林や野原の割合」は44.7%で、44%台を維持するという目標値を達成できました。

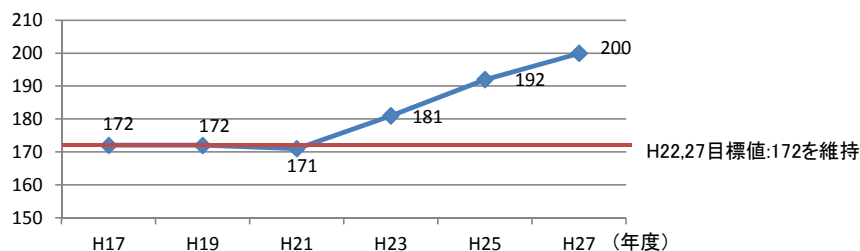
(2)自然との共生

④ホテルの生息地（か所）

基準値	実績値						達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27		
172	172	171	181	192	200	◎	

【周期】 2年
 【出典】 担当課調べ
 「ホテルの生息地点数」

(か所)



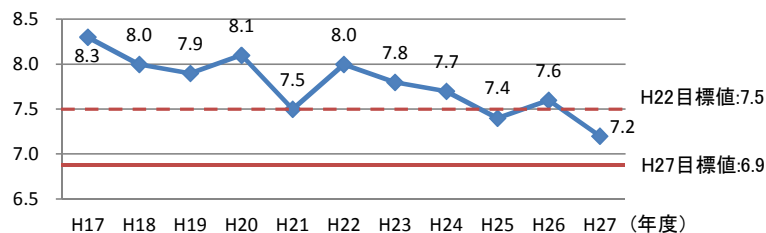
○「ホテルの生息地」は172か所の現状維持という目標値に対し、28か所増の200か所へと大きな成果をあげることができました。

(3)環境先進都市

⑤児島湖の水質（COD）（mg/ℓ）

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
8.3	8.0	7.9	8.1	7.5	8.0	7.8	7.7	7.4	7.6	7.2	○

(mg/ℓ)

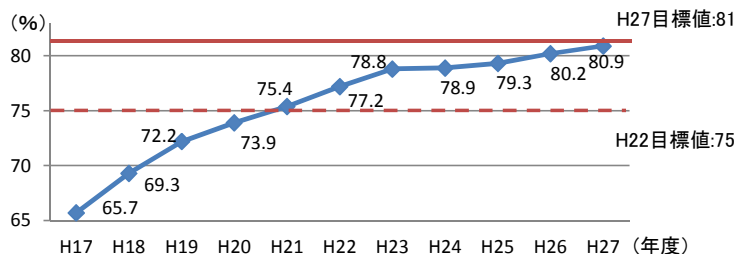


【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「児島湖湖心の水質COD」
 CODとは化学的酸素要求量
 (Chemical Oxygen Demand)

○「児島湖の水質（COD）」は目標値を達成することはできませんでしたが、着実な低減をみることができました。

⑥汚水処理人口普及率（％）

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
65.7	69.3	72.2	73.9	75.4	77.2	78.8	78.9	79.3	80.2	80.9	○



【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「公共下水道＋農業集落
 排水事業＋コミュニティプラ
 ント＋合併浄化槽の普及
 率」
 処理人口／住民基本台帳
 人口

○「汚水処理人口普及率」は目標値にわずかに到達できませんでしたが、着実な前進を図ることができました。

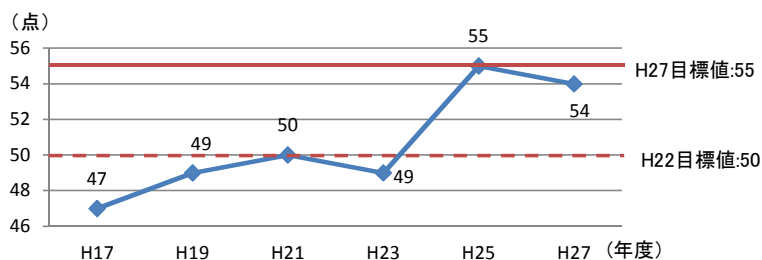
(3)環境先進都市

⑦地球温暖化防止行動の実践度(点)

基準値	実績値						達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27		
47	49	50	49	55	54	○	

【周期】 2年

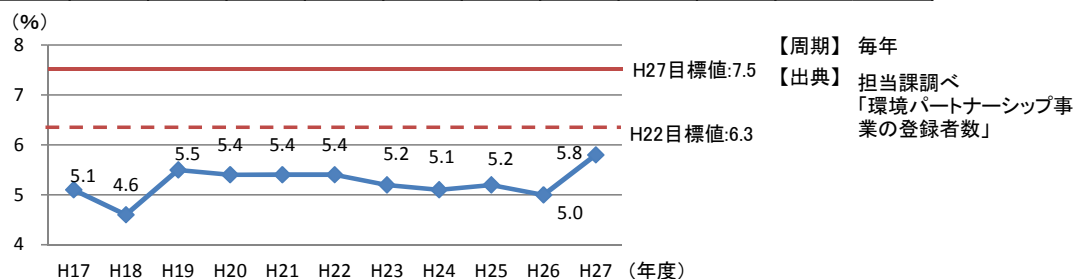
【出典】 市民意識調査
地球温暖化対策として求められる10項目の
市民による日常活動の状況を点数化



○「地球温暖化防止の行動の実践度」は、平成27年度にわずかに目標値を達成できませんでしたが、着実な前進を図ることができました。

⑧環境パートナーシップ事業に参加する市民の割合 (%)

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
5.1	4.6	5.5	5.4	5.4	5.4	5.2	5.1	5.2	5.0	5.8	△



【周期】 毎年

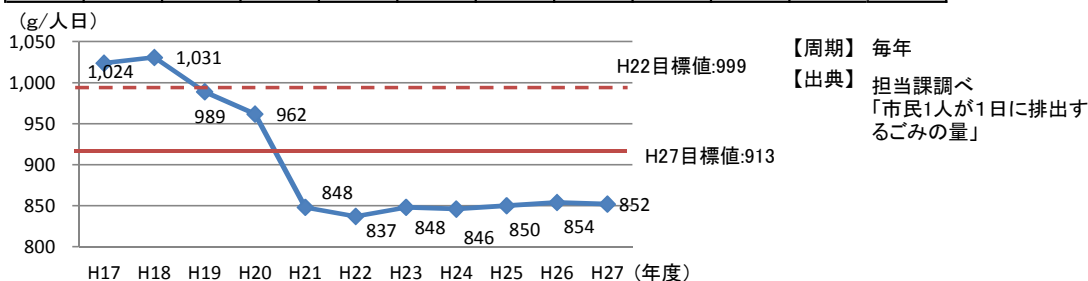
【出典】 担当課調べ
「環境パートナーシップ事業の登録者数」

○「環境パートナーシップ事業に参加する市民の割合」は、ほぼ横ばいで、登録団体数に頭打ち傾向が見られることから、今後の支援や啓発の在り方が課題となっています。

(4)資源循環社会構築

⑨市民1人1日あたりのごみ排出量 (g/人日)

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
1,024	1,031	989	962	848	837	848	846	850	854	852	◎



【周期】 毎年

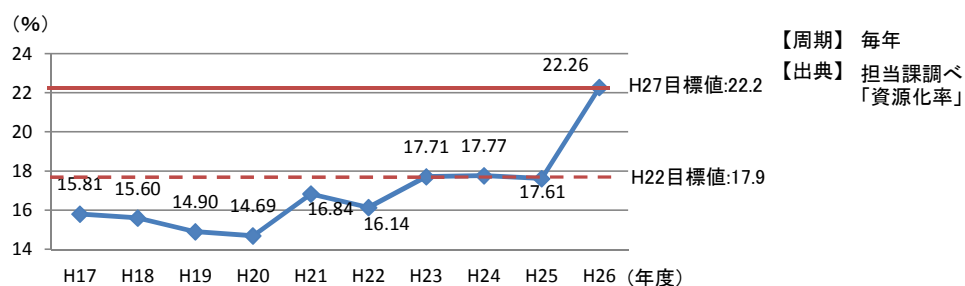
【出典】 担当課調べ
「市民1人が1日に排出するごみの量」

○「ごみ排出量」は、平成21年度からの家庭ごみの有料化により大きな成果をあげることができました。しかし、それ以降横ばい傾向にあることから、さらなる減量化の取組が求められています。

(4)資源循環社会構築

⑩資源化率（％）

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
15.81	15.60	14.90	14.69	16.84	16.14	17.71	17.77	17.61	22.26		◎



○「資源化率」は、平成26年度から近年活発化している民間リサイクル量を算入したため、飛躍的に改善し、目標値を達成することができました。

②街と田園のかたちを明確にする

8項目の成果指標のうち、平成27年度の目標値を上回ったのは「JR岡山駅の1日あたりの乗降者数」のみという結果になりました。

政策名	成果指標の名称（単位）	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)コンパクト市街地と田園の共生	市街化区域内の人口比率（％）	80.5	81	81.5	80.9 (H22)	△
	都心の人口密度（人/ha）	75	78	81	80 (H22)	○
(2)生活交流都心創生	都心の事業所の割合（％）	24.3 (H13)	24.7	25.5	21.2 (H26)	×
	都心の歩行者数（人） （上：休日） （下：平日）	5,410 3,846 (H16)	6,000 4,300	6,600 4,700	5,405 3,925	×
(3)安全な都市基盤	浸水対策実施済み割合（％）	70	75	80	77.9	○
	救急車到着時間（分） （上：覚知から） （下：入電から）	6.8 8.7	6.5 8.1	6.4 8	— 8.4	△
(4)人と環境にやさしい総合交通システム	JR岡山駅の1日あたりの乗降者数（万人）	11.9	12.2	12.5	13.2	◎
	岡山都市圏における年間渋滞損失時間（万人時間）	5,500	5,000	4,500	—	—

2 街と田園のかたちを明確にする

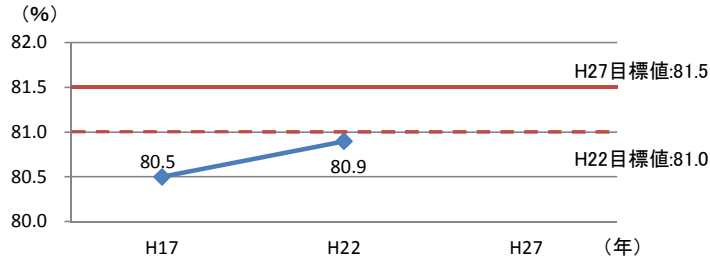
(1)コンパクト市街地と田園の共生

⑪市街化区域内の人口比率（％）

基準値	実績値		達成度
	H17	H22	
80.5	80.9		△

【周期】 5年

【出典】 国勢調査人口
「市街化区域内人口の全市人口に占める割合」



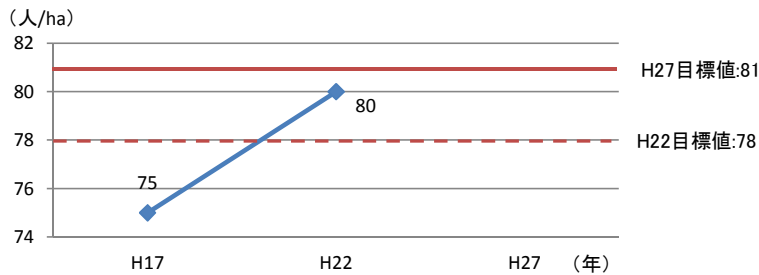
○「市街化区域内の人口比率」は国勢調査に基づく指標のため平成22年の実績値しかありませんが、着実な増加を見て取ることができます。

⑫都心の人口密度（人/ha）

基準値	実績値		達成度
	H17	H22	
75	80		○

【周期】 5年

【出典】 国勢調査人口
「中心市街地エリア内(614ha)の人口密度」



○「都心の人口比率」は国勢調査に基づく指標のため平成22年の実績値しかありませんが、住民基本台帳ベースで平成22年から26年の4年間で3.1人/ha増加していることから、人口の都心回帰の着実な動きを確認することができます。

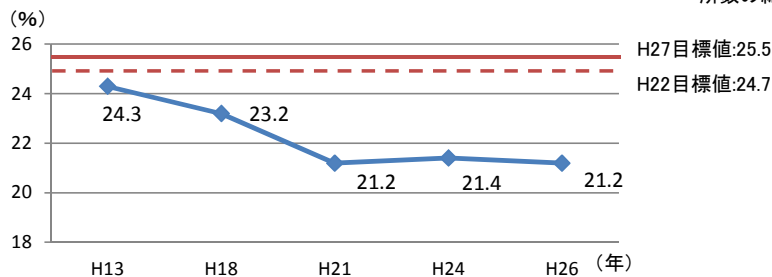
(2)生活交流都心創生

⑬都心の事業所の割合（％）

基準値	実績値				達成度
	H13	H18	H21	H24	
24.3	23.2	21.2	21.4	21.2	×

【周期】 5年

【出典】 事業所・企業統計調査、経済センサス
「中心市街地重点整備エリア内における事業所数の総事業所数に占める割合」



○「都心の事業所の割合」は、実績値が基準値よりも悪化しており、商業・業務機能の空洞化が止まっていないことが見て取れます

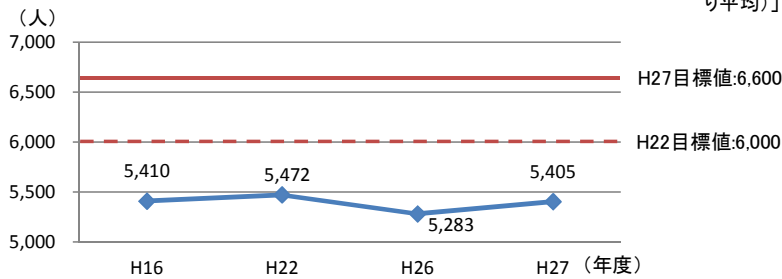
(2)生活交流都心創生

⑭都心の歩行者数（人）（休日）

基準値	実績値				達成度
	H16	H22	H26	H27	
5,410	5,472	5,283	5,405	×	

【周期】 2年

【出典】 担当課調べ
「平均歩行者通行量(調査地点の1地点あたり平均)」



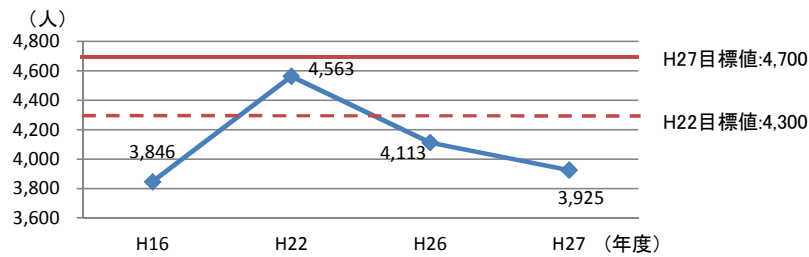
○「都心の歩行者数(休日)」は、横ばいで推移しており、平成27年は基準値を下回っています。

⑭都心の歩行者数（人）（平日）

基準値	実績値				達成度
	H16	H22	H26	H27	
3,846	4,563	4,113	3,925	△	

【周期】 2年

【出典】 担当課調べ
「平均歩行者通行量(調査地点の1地点あたり平均)」



○「都心の歩行者数(平日)」は、平成22年には増加しましたが、その後下降しており、商業機能の空洞化が進んでいることが見て取れます。

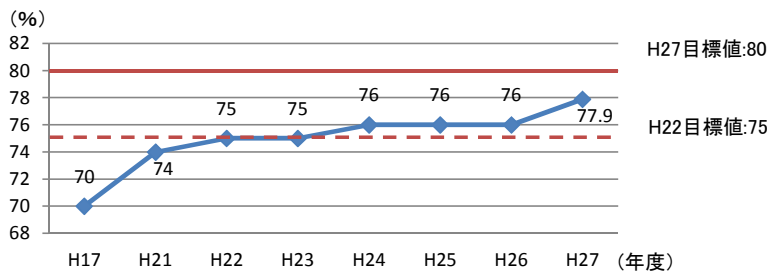
(3)安全な都市基盤

⑮浸水対策実施済み割合（％）

基準値	実績値							達成度
	H17	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
70	74	75	75	76	76	76	77.9	○

【周期】 毎年

【出典】 担当課調べ
「重点的に浸水対策を実施すべき市街地に対する実施済み面積の割合」



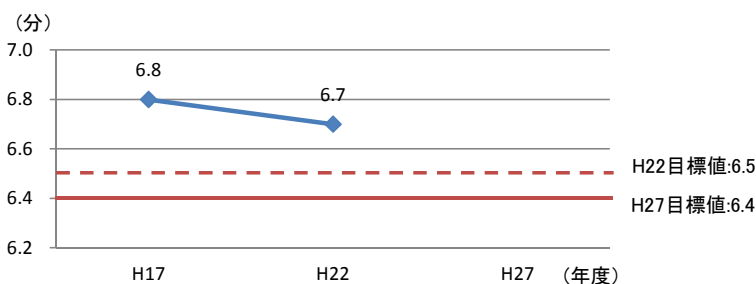
○浸水対策実施済み割合は目標値の80%に対し、実績値は77.9%にとどまりました。災害の大規模化に対応し、浸水対策の早急の実施が必要です。

(3)安全な都市基盤

⑩救急車到着時間（分）（覚知から）

基準値	実績値		達成度
	H17	H22	
6.8	6.7		—

【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「救急車平均現場到着時間」
 ※「覚知」とは、119番通報等を受け、事案を認識したときをいう。

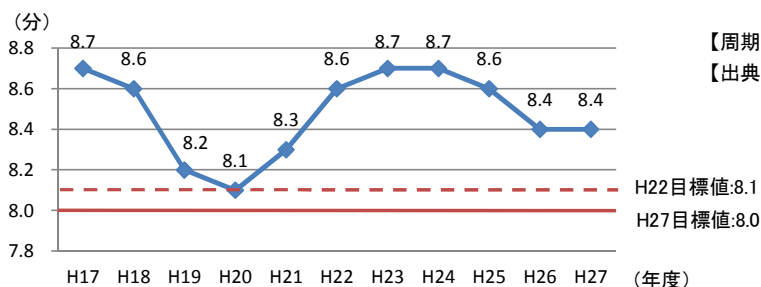


○「救急車到達時間」は入電からを基準にすることになり、平成27年度の実績はありません。

⑩救急車到着時間（分）（入電から）

基準値	実績値										達成度
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
8.7	8.6	8.2	8.1	8.3	8.6	8.7	8.7	8.6	8.4	8.4	△

【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「救急車平均現場到着時間」
 ※「入電」とは119番通報等を受けたときをいう。



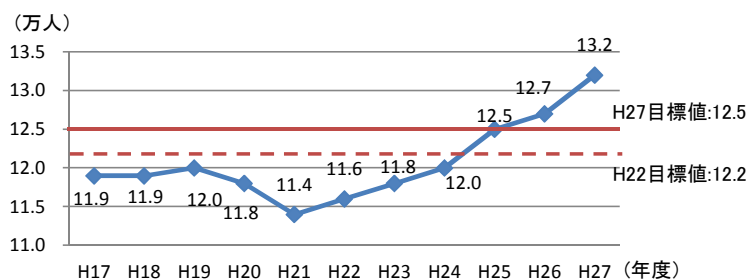
○「救急車到達時間(入電から)」は目標値を達成することはできませんでしたが、平成22年度から平成27年度の5年間で救急件数が13.7%増加する中で、署所の適正配置、救急隊の増隊等の対策により実績値を向上させることができました。

(4)人と環境にやさしい総合交通システム

⑪JR岡山駅の1日あたりの乗降者数（万人）

基準値	実績値										達成度
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
11.9	11.9	12.0	11.8	11.4	11.6	11.8	12	12.5	12.7	13.2	◎

【周期】 毎年
 【出典】 JR西日本調べ
 「1日あたりのJR岡山駅の乗車人員×2」



○「JR岡山駅の1日あたりの乗降者数」は、目標値12.5万人に対し、13.2万人と超過達成することができました。地下改札口周辺へのエレベータ設置、バスターミナルの乗り場の方面別化、ももちやりの整備等の利便性向上に向けた取組の効果と、大型ショッピングモールの開業の影響によるものと考えられます。

(4)人と環境にやさしい総合交通システム

⑱岡山都市圏における年間渋滞損失時間（万人時間）

基準値	実績値			達成度
	H17	H22	H26	
5,500	調査 未実施	調査 未実施	調査 未実施	—

【周期】 5年

【出典】 国土交通省岡山国道事務所・岡山県調べ
※「岡山都市圏」とは岡山市、倉敷市、玉野市、総社市、赤磐市、瀬戸内市、早島町の6市1町

※「渋滞損失時間」=渋滞がない場合と渋滞している場合の所要時間の差×交通量×平均乗車人員

③安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる

10項目の成果指標のうち、目標値を上回ったのは3項目にとどまりました。

政策名	成果指標の名称（単位）	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)ユニバーサル社会	人権問題に関する講演・研修へ参加したことの無い人の割合 (%)	53.3 (H15)	52	50	45 (H25)	◎
	性別による固定的役割分担意識の解消度 (%)	68.3	72.5	76.7	73.9	○
	バリアフリー施設数（か所）	433 (H18)	600	700	456	△
(2)最適な健康医療システム	健康状態がよいと感じる市民の割合 (%)	76.9	78	80	81.3	◎
	地域での「健康づくり運動」参加度 (%)	16.5	20	25	11.5	×
(3)福祉の総合支援	健康であると感じている高齢者の割合 (%)	67.5 (H16)	69.9	70	79.9 (H25)	◎
	障害者の一般就労への移行者数（人）	40	140	160	86	△
(4)安心の子育て	子育て環境の満足度 (%)	15.9	20	25	16.7	△
	周産期死亡率 (‰)	3.5	3.2	3	3.6 (H27)	×
	合計特殊出生率 (%)	1.4 (H16)	1.45	1.5	1.453 (H26)	○

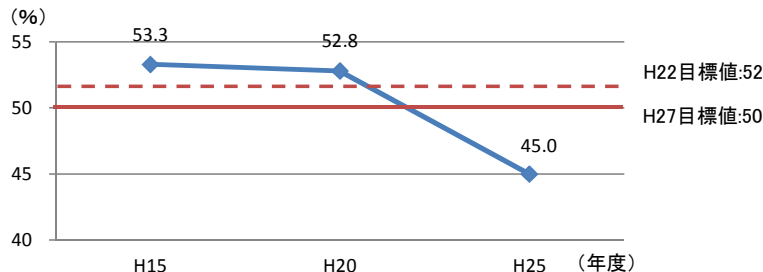
3 安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる

(1)ユニバーサル社会

⑱人権問題に関する講演・研修へ参加したことの割合(%)

基準値	実績値			達成度
	H15	H20	H25	
53.3	52.8	45.0	◎	

【周期】 5年
 【出典】 人権問題に関する市民意識調査
 「人権問題に関する講演・研修に参加したことがない」と回答した市民の割合

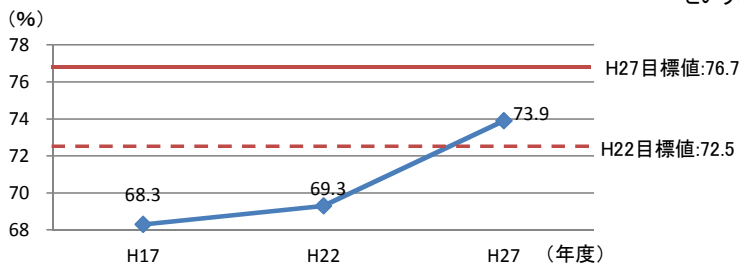


○「人権問題に関する講演・研修へ参加したことの割合」は目標値50%に対し、45.0%で目標を達成しました。

⑳性別による固定的役割分担意識の解消度(%)

基準値	実績値			達成度
	H17	H22	H27	
68.3	69.3	73.9	○	

【周期】 5年
 【出典】 男女共同参画に関する市民意識・実態調査
 「男は外で働くもの、女は家庭を守るものだ」という考え方に同感しない人の割合

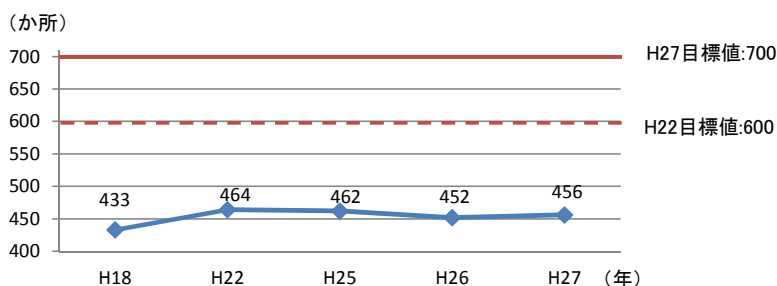


○「性別による固定的役割分担意識の解消度」は、目標値を達成することはできませんでしたが、着実に向上しています。

㉑バリアフリー施設数(か所)

基準値	実績値					達成度
	H18	H22	H25	H26	H27	
433	464	462	452	456	△	

【周期】 毎年
 【出典】 岡山県把握数
 「岡山県バリアフリー施設ガイド」掲載数



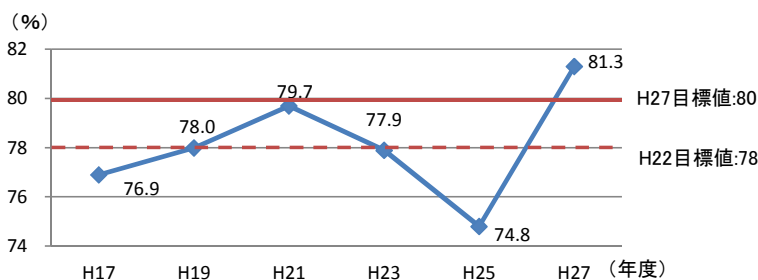
○「バリアフリー施設数」は横ばい状態で、改善が進んでいません。施設の登録が義務づけされていないため、未登録の施設もあるものと考えられますが、すべての人が暮らしやすいまちづくりに向け、引き続きバリアフリー施設の整備を促進していく必要があります。

(2)最適な健康医療システム

㉒健康状態がよいと感じる市民の割合（％）

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
76.9	78.0	79.7	77.9	74.8	81.3	◎

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「現在の健康状態」が「よい」「まあまあよい」と感じている市民の割合

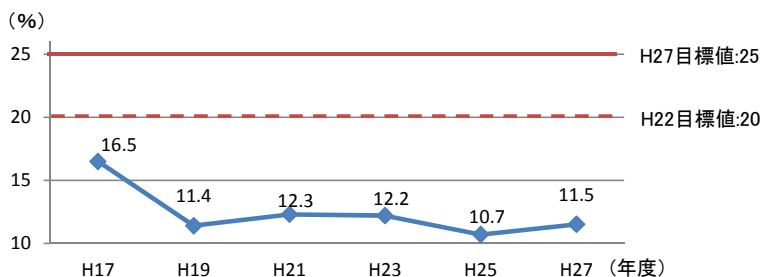


○「健康状態がよいと感じる市民の割合」は、平成21年度以降低下しましたが、平成27年度は81.3%で目標値を達成できました。

㉓地域での「健康づくり運動」参加度（％）

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
16.5	11.4	12.3	12.2	10.7	11.5	×

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 地域で行われている健康づくり運動に参加している市民の割合



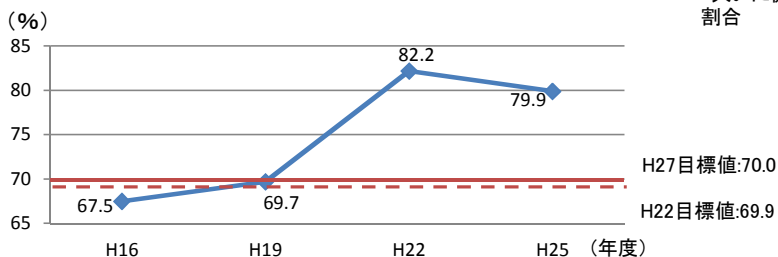
○「地域での『健康づくり運動』参加度」は基準値を大きく下回る結果になりました。今後後期高齢者が増加することが見込まれ、早期からの健康づくりが課題となる中、従来の健康教育や地域のヘルスポランティア組織活動を通じた働きかけに加え、新たな健康づくり支援の取組が求められています。

(3)福祉の総合支援

㉔健康であると感じている高齢者の割合（％）

基準値	実績値			達成度
H16	H19	H22	H25	
67.5	69.7	82.2	79.9	◎

【周期】 3年
 【出典】 高齢者実態調査
 「一般高齢者(65才以上)における自覚的健康度」
 「大いに健康」「まあ健康」と自覚している方の割合



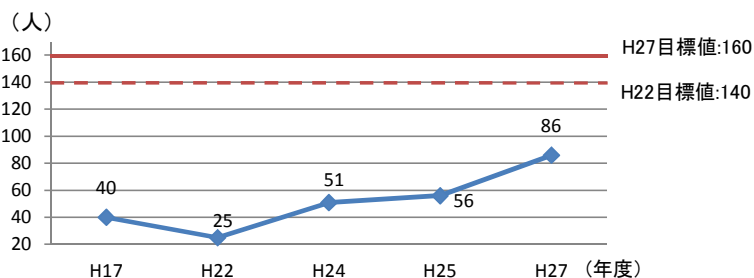
○「健康であると感じている高齢者の割合」は、約8割となり目標値を達成することができました。

(3)福祉の総合支援

㊸障害者の一般就労への移行者数（人）

基準値	実績値					達成度
	H17	H22	H24	H25	H27	
40	25	51	56	86	△	

【周期】 3年
 【出典】 担当課調べ
 「障害者の一般就労への移行者数」



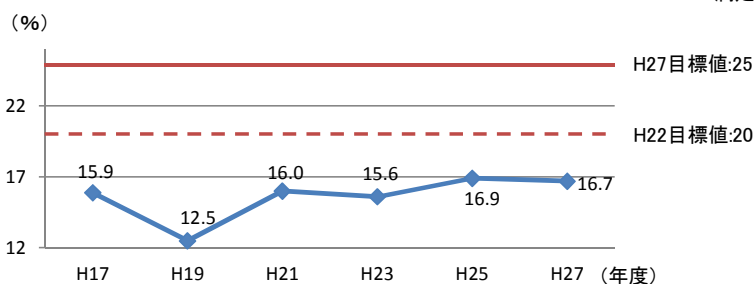
○「障害者の一般就労への移行者数」は、10年間で4倍の160人という目標には届きませんでしたが、2倍強の86人に増加しました。障害者の就労は、地域での自立した生活を支える重要な要素であることから、今後とも就労の支援を一層推進していく必要があります。

(4)安心の子育て

㊸子育て環境の満足度（％）

基準値	実績値					達成度
	H17	H19	H21	H23	H25	
15.9	12.5	16.0	15.6	16.9	16.7	△

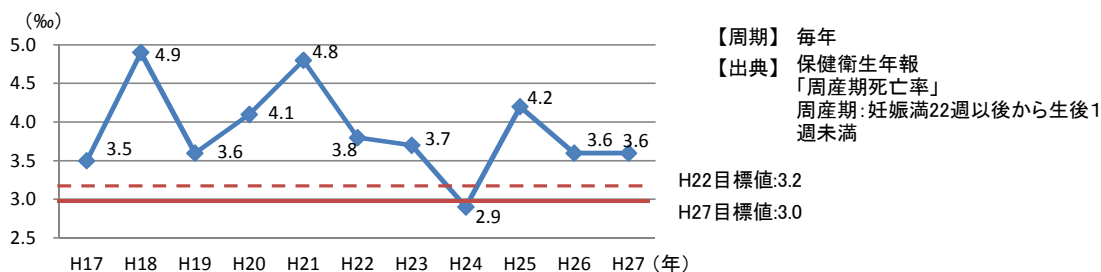
【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「子育て支援や児童福祉に対する満足度」
 「満足」「やや満足」と回答した市民の割合



○「子育て環境の満足度」は、横ばい状態にとどまっており、引き続き、市民ニーズを踏まえ、安心して子育てをすることができる環境整備に取り組んでいくことが重要です。

㊸周産期死亡率（‰）

基準値	実績値										達成度
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
3.5	4.9	3.6	4.1	4.8	3.8	3.7	2.9	4.2	3.6	3.6	×



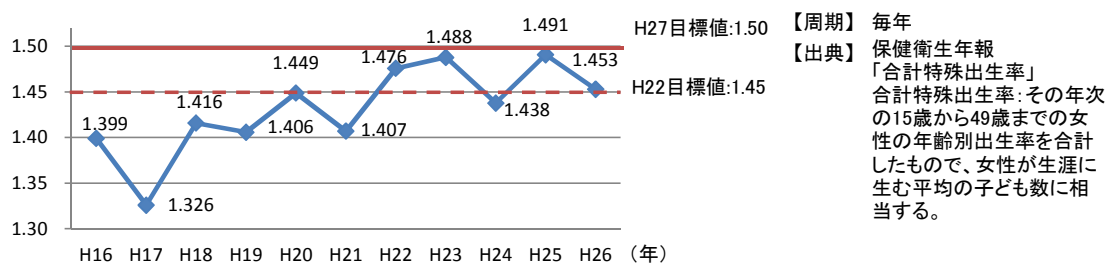
【周期】 毎年
 【出典】 保健衛生年報
 「周産期死亡率」
 周産期：妊娠満22週以後から生後1週未満

○「周産期死亡率」は母数が少ないため、年ごとの変動が大きくなりがちですが、平成17年以降は3～4‰台とほぼ横ばいで推移し、平成24年度以外は目標値を達成できませんでした。

(4)安心の子育て

㊸合計特殊出生率

基準値	実績値											達成度
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
1.399	1.326	1.416	1.406	1.449	1.407	1.476	1.488	1.438	1.491	1.453	○	



○「合計特殊出生率」は、1.50という目標値には到達していませんが、近年上昇傾向にあり、様々な子育て支援施策に取り組んだことが寄与しているものと考えられます。

④自立し自己実現できる人間力を育てる

7項目の成果指標のうち、平成27年度の目標値を上回ったものではありませんでした。

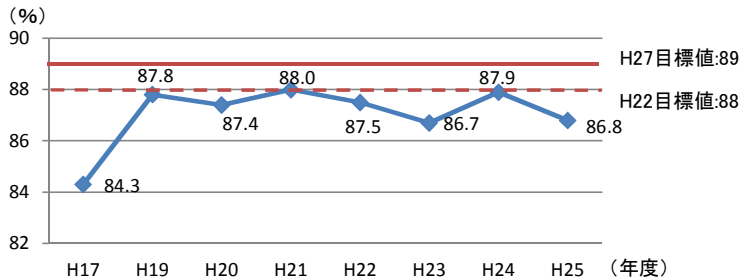
政策名	成果指標の名称（単位）	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)岡山っ子 育成	児童・生徒の学校満足度（％）	84.3	88	89	86.8 (H25)	△
	学校支援ボランティア活動割合（％）	78.0 (H19)	79	80	78.8	△
(2)教育環境 づくり	保護者の教育環境満足度（％）	73.4	86	87	86.8 (H25)	○
	地域協働学校の割合（％）	11	50	92	78.9	○
(3)生涯学習	生涯学習環境の満足度（％）	46.3	47	48	35.6	×
	生涯スポーツ環境の満足度（％）	31.2	35	45	16.6	×
	生涯学習施設の利用度（回）	4.82	5.5	6.5	5.06	△

4 自立し自己実現できる人間力を育てる

(1)岡山っ子育成

㊸児童・生徒の学校満足度（％）

基準値	実績値									達成度
H17	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
84.3	87.8	87.4	88.0	87.5	86.7	87.9	86.8			△



【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 学校自己評価において、児童・生徒が「学校へ行くのが楽しい」と思う割合

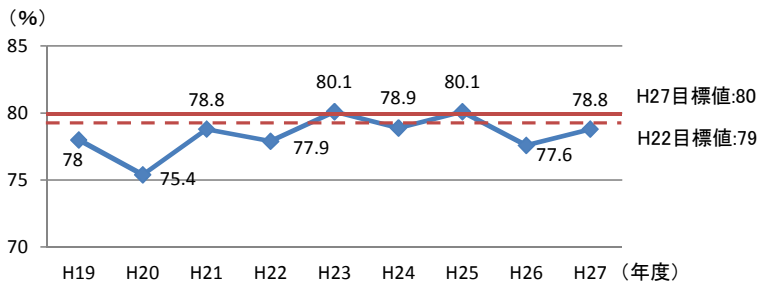
H26	H27	(教育に関する総合調査の結果)
84.2	85.0	

(参考) (参考)

○「児童・生徒の学校満足度」は80%台後半で横ばいで推移しています。

㊹学校支援ボランティア活動割合（％）

基準値	実績値								達成度
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
78	75.4	78.8	77.9	80.1	78.9	80.1	77.6	78.8	△



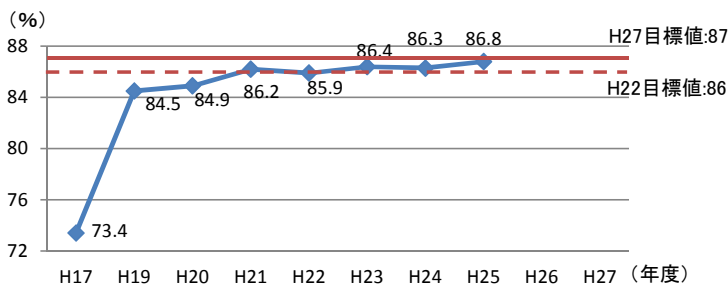
【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「学校支援ボランティアアンケート」登録者の活動した割合

○「学校支援ボランティア活動割合」は目標値に近い数値で横ばいで推移しています。

(2)教育環境づくり

㊺保護者の教育環境満足度（％）

基準値	実績値									達成度
H17	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
73.4	84.5	84.9	86.2	85.9	86.4	86.3	86.8			○



【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 学校自己評価において、保護者が「学校の教育環境が整備されている」と思う割合

H26	H27	(教育に関する総合調査の結果)
79.6	83.6	

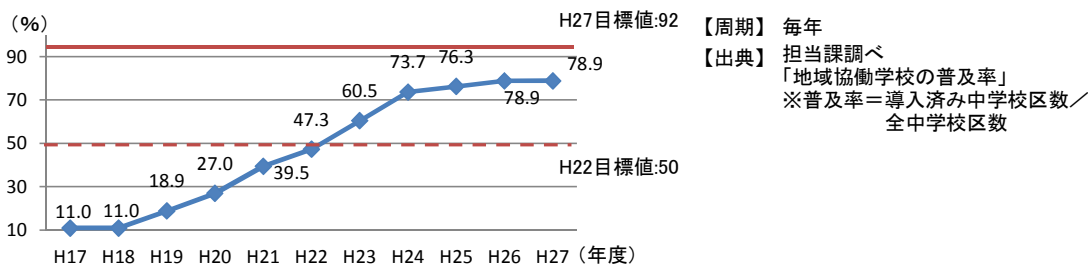
(参考) (参考)

○「保護者の教育環境満足度」は73.4%から86.8%へ上昇し、ほぼ目標値を達成する水準になっています。

(2)教育環境づくり

⑫地域協働学校の割合 (%)

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
11.0	11.0	18.9	27.0	39.5	47.3	60.5	73.7	76.3	78.9	78.9	○



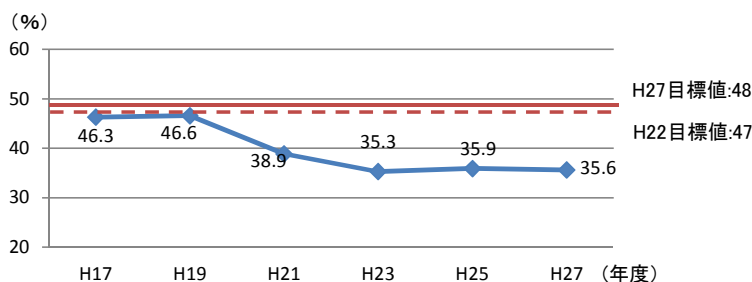
○「地域協働学校の割合」は目標値には到達していませんが、平成17年度の11.0%から平成27年度の78.9%へと着実に前進しています。

(3)生涯学習

⑬生涯学習環境の満足度 (%)

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
46.3	46.6	38.9	35.3	35.9	35.6	×

【周期】 2年
【出典】 市民意識調査
「図書館・公民館等生涯学習施設や施策の満足度」
「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

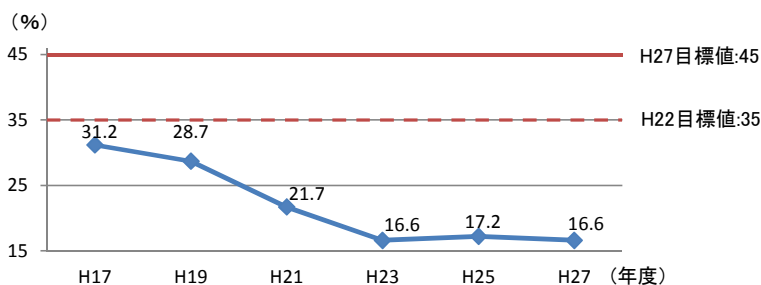


○「生涯学習環境の満足度」は基準値の46.3%から35.6%へ10.7ポイント低下しました。生涯学習ニーズに応えた施策が求められています。

⑭生涯スポーツ環境の満足度 (%)

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
31.2	28.7	21.7	16.6	17.2	16.6	×

【周期】 2年
【出典】 市民意識調査
「体育・スポーツの振興や健康づくりの満足度」
「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

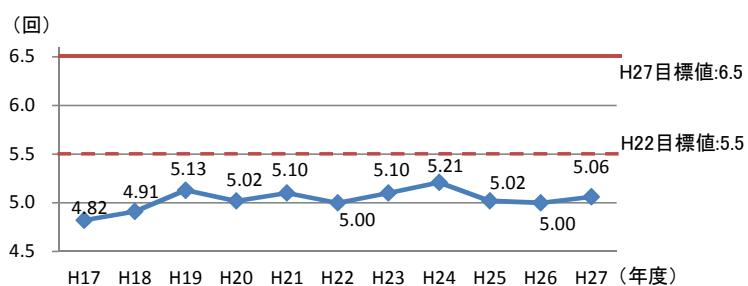


○「生涯スポーツ環境の満足度」は基準値の31.2%から16.6%へ14.6ポイント低下しています。近年、生活様式の変化や健康志向によるスポーツへの関心・需要が高まっていることから、満足度の向上対策として市民ニーズに対応した生涯スポーツ環境の整備が重要と考えられます。

(3)生涯学習

㊦生涯学習施設の利用率（回）

基準値	実績値											達成度
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
4.82	4.91	5.13	5.02	5.10	5.10	5.10	5.21	5.02	5.00	5.06	△	



【周期】 毎年
【出典】 各館調べ
「生涯学習施設の利用者数／全市人口」
※生涯学習施設：公民館、市立図書館、西川アイプラザ、県立図書館、シティミュージアム、オリエント美術館、県立美術館、林原美術館、夢二郷土美術館、犬島自然の家、少年自然の家

○「生涯学習施設の利用率」は平成17年度の4.82回から平成27年度の5.06回と横ばいで推移しています。

⑤市民力で新しい岡山をつくる

7項目の成果指標のうち、「安全・安心」に関わる2項目が目標を達成しましたが、半数を超える4項目は実績値が基準値を下回るという結果になりました。

政策名	成果指標の名称（単位）	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)安全・安心な地域づくり	地域の安全・安心度（％）	68 (H19)	71	77	82	◎
	地域活動、ボランティア・NPOの活動への参加度（％）	46.4 (H19)	49	56	39.9	×
	自主防災会組織率（％）	19.6	30	40	42.9	◎
(2)未来につながる交流	国際交流・国際化の満足度（％）	11.5	15	20	11.1	×
	岡山市に住み続けたい外国人市民の割合（％）	60 (H14)	65	70	57.3	×
(3)パートナーシップによる都市経営	開かれた市政の満足度（％）	15.5	20	30	13.1	×
	行政窓口の充実満足度（％）	14.5	20	30	18.7	△

5 市民力で新しい岡山をつくる

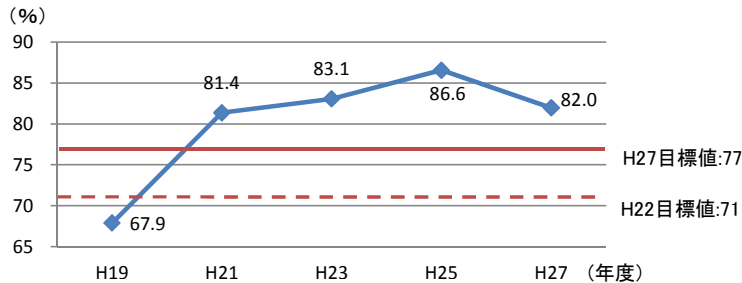
(1)安全・安心な地域づくり

③⑥地域の安全・安心度（％）

基準値	実績値					達成度
H19	H21	H23	H25	H27		
67.9	81.4	83.1	86.6	82.0	◎	

【周期】 2年

【出典】 市民意識調査(質問新設)
「安全・安心な地域社会と感じる市民の割合」



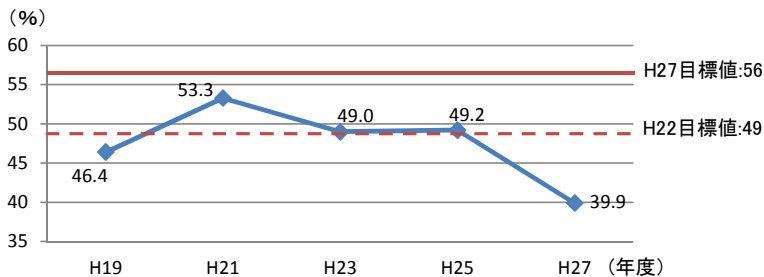
○「地域の安全・安心度」は平成21年度以降、平成27年度目標値の80%を超え、高い水準で推移しています。これは、自分たちの地域は自分たちの力で守り育てようとする「安全・安心ネットワーク」の地域活動が成果をあげているためと考えられます

③⑦地域活動、ボランティア・NPOの活動への参加度（％）

基準値	実績値					達成度
H19	H21	H23	H25	H27		
46.4	53.3	49.0	49.2	39.9	×	

【周期】 2年

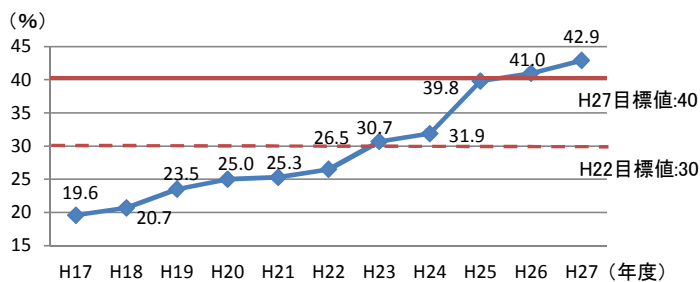
【出典】 市民意識調査(質問新設)
「地域活動・ボランティア活動に参加する市民の割合」



○「地域活動、ボランティア・NPOの活動への参加度」は基準値から低下するという結果になり、市民力・地域力の低下が懸念されます

③⑩自主防災会組織率（％）

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
19.6	20.7	23.5	25.0	25.3	26.5	30.7	31.9	39.8	41.0	42.9	◎



【周期】 毎年

【出典】 担当課調べ
「自主防災会結成単位町内会の世帯数の市内全世帯数に占める割合」

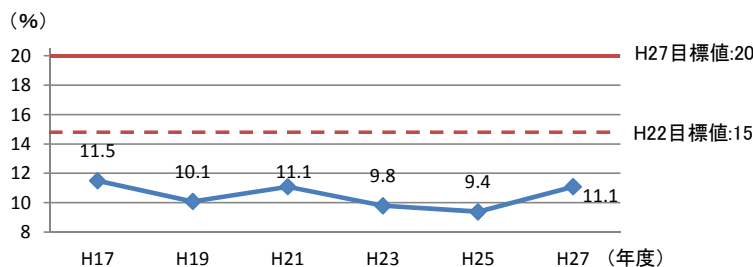
○「自主防災会組織率」は、東日本大震災を契機とした防災に対する市民意識の高まりを背景に、平成17年度の19.6%から平成27年度の42.9%へと大きく向上し、目標値は達成したものの、依然として低い状況であり、今後とも組織率向上に向けた取組が重要です。

(2)未来につながる交流

③9国際交流・国際化の満足度（％）

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
11.5	10.1	11.1	9.8	9.4	11.1	×

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「国際交流・国際化の満足度」
 「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

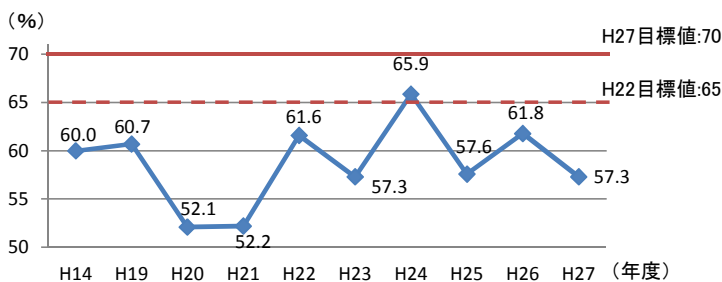


○「国際交流・国際化の満足度」は平成17年度の基準値を下回り、低い状態が続いています。引き続き、将来を担う子どもたちの交流に重点を置くなどして国際理解を深めるとともに、民間主導の交流の促進を図るなど国際交流のすそ野を拡大することが必要です。

④0岡山市に住み続けたい外国人市民の割合（％）

基準値	実績値									達成度
H14	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
60.0	60.7	52.1	52.2	61.6	57.3	65.9	57.6	61.8	57.3	×

【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 （外国人市民向けアンケート調査を実施）



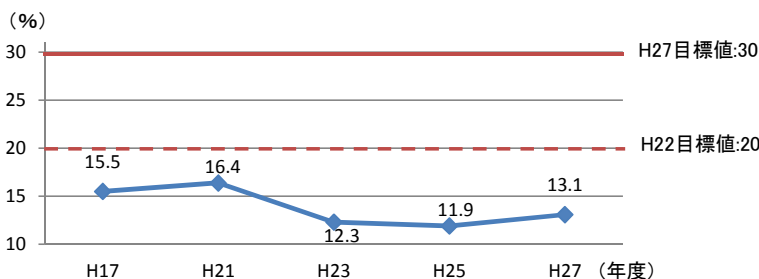
○「岡山市に住み続けたい外国人市民の割合」は平成14年度の基準値を下回り、低い状態が続いています。引き続き、地域社会への参加促進を図るなど、多文化共生のまちづくりを進める取組が必要です。

(3)パートナーシップによる都市経営

④1開かれた市政の満足度（％）

基準値	実績値				達成度
H17	H21	H23	H25	H27	
15.5	16.4	12.3	11.9	13.1	×

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「広報広聴、情報公開、市民参加の満足度」
 「満足」「やや満足」と回答した市民の割合



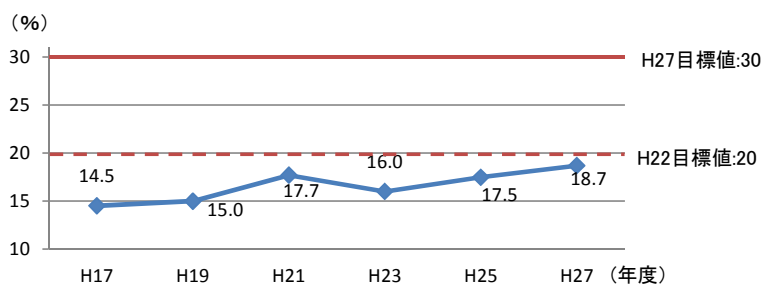
○「開かれた市政の満足度」は、平成17年度基準値を下回るという結果になりました。取組自体は後退していないため、市民の期待値が高くなっていると推測されます。わかりやすい広報活動や情報公開制度の運用等を通じて、市政への市民参画の促進を図る必要があります。

(3)パートナーシップによる都市経営

④行政窓口の充実満足度 (%)

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
14.5	15.0	17.7	16.0	17.5	18.7	△

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「行政窓口の充実の満足度」
 「満足」「やや満足」と回答した市民の割合



○「行政窓口の充実満足度」は目標値に到達していないものの、基準値の14.5%から18.7%へ漸増しています。

⑥岡山の強みをいかした産業を広げる

8項目の成果指標のうち、3項目が目標を達成することができました。

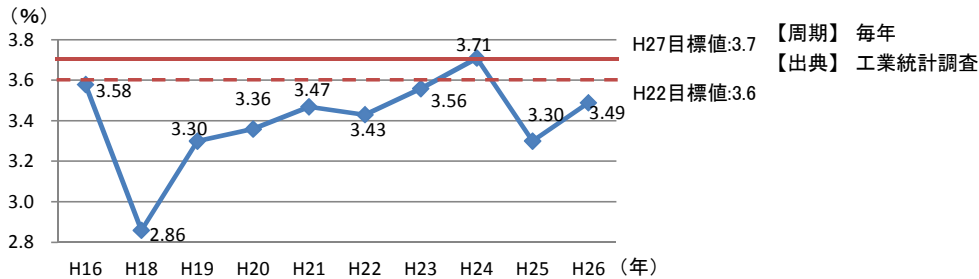
政策名	成果指標の名称（単位）	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)強みをいかした産業育成	岡山市の工業力（％）	3.58 (H16)	3.6	3.7	3.49 (H26)	×
	岡山市の事業所の集積度（％）	5.54 (H16)	5.9	6.4	6.15 (H26)	○
	岡山市の商業力(小売業)（％）	6.4 (H16)	6.7	6.9	7.54 (H26)	◎
(2)コンベンションシティ構築	コンベンションの年間開催数（件）	48	70	80	96	◎
	コンベンションの年間参加者数（万人）	5.2	6.3	8	6.8	○
(3)安全で豊かな食産業	岡山の農林水産物の安全・安心イメージ（％）	49.5 (H19)	50	65	56.4	○
	認定農業者数（経営体）	551	660	720	665	○
	認定農業者等が耕作する農地の割合(利用集積率)（％）	25	29	33	38	◎

6 岡山の強みをいかした産業を広げる

(1)強みをいかした産業育成

④3岡山市の工業力（％）

基準値	実績値										達成度
H16	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
3.58	2.86	3.30	3.36	3.47	3.43	3.56	3.71	3.30	3.49	×	

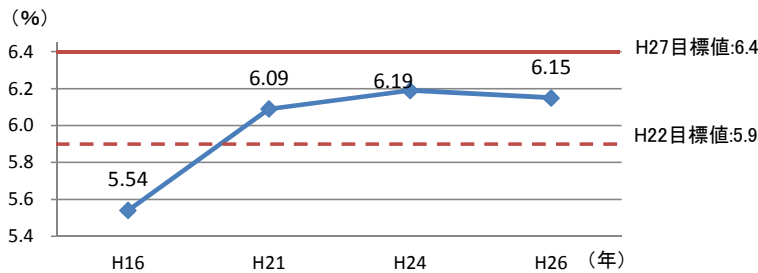


○「岡山の工業力」に関しては、円高等の影響による業績の悪化や倒産・廃業等により、岡山市の粗付加価値額は平成20年のリーマンショック前の水準には回復しておらず、平成17年度の基準値を下回って推移しています。今後とも、強みをいかした戦略的な産業分野の育成や産学官金連携・企業連携の推進が課題となっています。

④4岡山市の事業所の集積度（％）

基準値	実績値			達成度
H16	H21	H24	H26	
5.54	6.09	6.19	6.15	○

【周期】 2～3年
【出典】 事業所・企業統計調査、経済センサス
事業所数割合(岡山市/中四国9県)



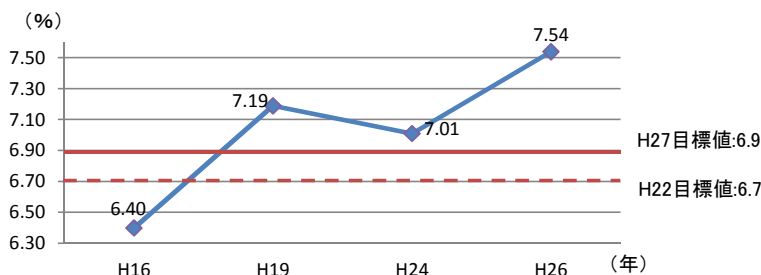
○「岡山市の事業所の集積度」は、政令指定都市への移行効果や東日本大震災を背景としたBCP(事業継続計画)の観点から岡山市の優位性が再評価されたこと等により、集積度が高まっています。

④5岡山市の商業力(小売業)（％）

基準値	実績値				達成度
H16	H19	H24	H26		
6.40	7.19	7.01	7.54	◎	

【周期】 2～3年
【出典】 商業統計調査、経済センサス
小売販売額割合(岡山市/中四国9県)

	H16	H19	H24	H26
小売販売額(中四国9県)	12,128,081	11,965,997	9,623,572	10,681,608
小売販売額(岡山市)	771,890	859,927	674,375	804,979

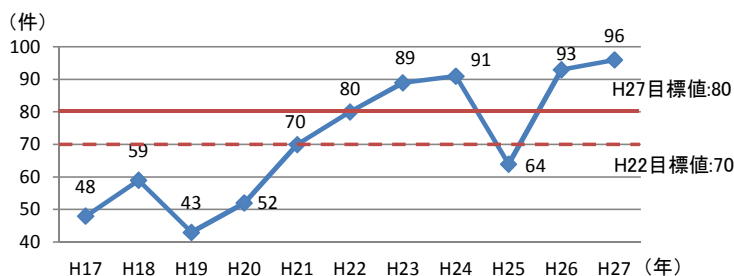


○「岡山市の商業力(小売業)」は、小売業の販売額・売場面積とも減少しているものの、中四国地方における割合が高まったことから、目標値を上回るという結果になりました。

(2)コンベンションシティ構築

④6コンベンションの年間開催数（件）

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
48	59	43	52	70	80	89	91	64	93	96	◎

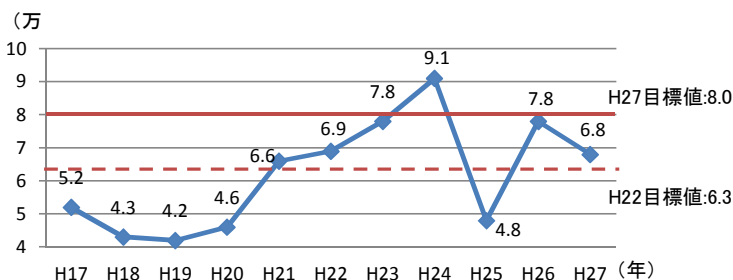


【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 (岡山市全国大会開催事業補助金交付件数)

○「コンベンションシティ構築」は、主催者への訪問セールスを通じた支援メニューの紹介等の誘致活動のほか、開催補助金制度の拡充等により、「コンベンションの年間開催件数」は目標値を上回り過去最高となりました。

④7コンベンションの年間参加者数（万人）

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
5.2	4.3	4.2	4.6	6.6	6.9	7.8	9.1	4.8	7.8	6.8	○



【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 (岡山市全国大会開催事業補助金交付件数)

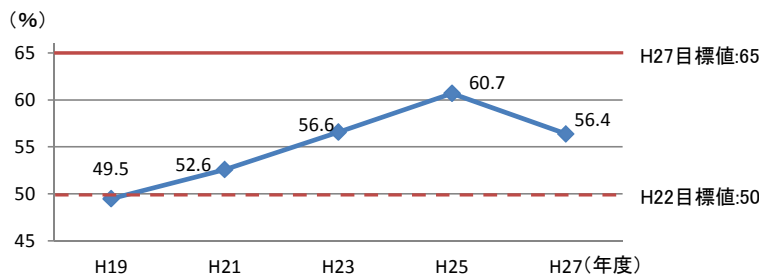
○「コンベンションの年間参加者数」は1件当たりの平均参加者数が少なかったため目標値に達することができませんでしたが、平成27年度は平成17年度と比べ1.6万人、30%増加しています。

(3)安全で豊かな食産業

④8岡山の農林水産物の安全・安心イメージ（％）

基準値	実績値					達成度
H19	H21	H23	H25	H27		
49.5	52.6	56.6	60.7	56.4	○	

【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査(質問新設)「食の安全」



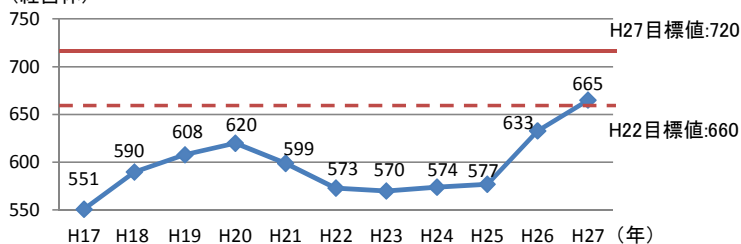
○「岡山の農林水産物の安全・安心イメージ」は、食の安全性や農の重要性に対する市民意識の高まりを背景に、地元産に対するイメージの向上が進んでいます。

(3)安全で豊かな食産業

④9 認定農業者数（経営体）

基準値	実績値										達成度
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
551	590	608	620	599	573	570	574	577	633	665	○

(経営体)



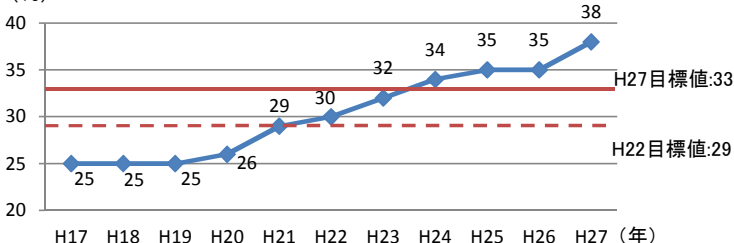
【周期】 毎年
【出典】 担当課調べ
「認定農業者数」

○「認定農業者数」は、一時減少に転じていましたが、国の制度改正により持ち直しつつあります。

⑤0 認定農業者等が耕作する農地の割合（利用集積率）（%）

基準値	実績値										達成度
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
25	25	25	26	29	30	32	34	35	35	38	◎

(%)



【周期】 毎年
【出典】 担当課調べ
「認定農業者等が耕作する農地の割合」

○「認定農業者等が耕作する農地の割合」は着実に上昇し、目標値を達成することができました。

⑦文化力で岡山の誇りを高める

6項目の成果指標のうち3項目が目標を達成しています。

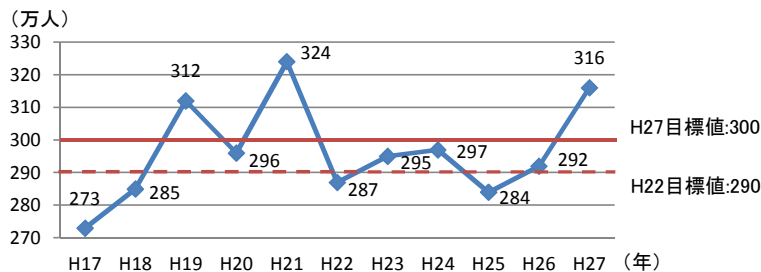
政策名	成果指標の名称（単位）	基準値 (H17)	目標値① (H22)	目標値② (H27)	実績値 (H27)	達成 状況
(1)魅せる歴史と文化	岡山カルチャーゾーンを訪れた人（万人）	273	290	300	316	◎
	文化財の親しみ度（人）	57,030 (H18)	65,000	68,000	88,566	◎
(2)生活に文化を楽しむ	文化振興・歴史保存活用の満足度（%）	28.5	30	32	19.1	×
	市民の文化活動参加度（%）	8.45	20	20	14.2	△
(3)岡山の光を発信する	岡山の魅力発信度 （上段：年間観光客数(万人)） （下段：年間観光消費額(百万円)）	425 20,039	465 21,925	515 25,750	440 (H25) 22,160 (H26)	△
	観光ボランティア数（人）	201	240	290	304	◎

7 文化力で岡山の誇りを高める

(1) 魅せる歴史と文化

⑤1 岡山カルチャーゾーンを訪れた人(万人)

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
273	285	312	296	324	287	295	297	284	292	316	◎

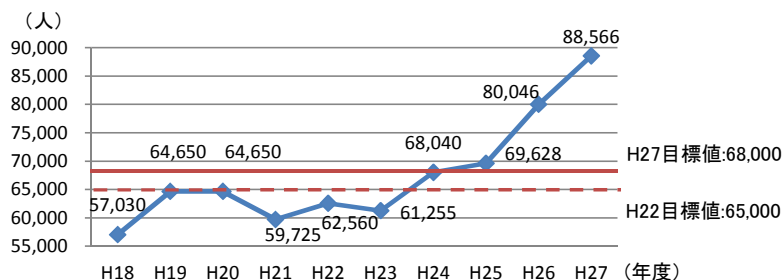


【周期】 毎年
 【出典】 各館調べ
 「岡山カルチャーゾーン来訪者数」
 ※岡山カルチャーゾーン連絡協議会加入施設: 夢二郷土美術館、岡山後楽園、岡山県立博物館、岡山城、林原美術館、岡山シンフォニーホール、岡山市立オリエント美術館、岡山県立美術館、岡山県立図書館、岡山県天神山文化プラザ、ルネスホール、岡山市民会館

○「岡山カルチャーゾーンを訪れた人」は、増減を繰り返しながら、平成27年度は目標値の300万人を達成することができました。引き続き、各施設の魅力アップと一層の連携強化を図り、魅力的なエリアづくりを進めることが求められています。

⑤2 文化財の親しみ度(人)

基準値	実績値										達成度
H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
57,030	64,650	64,650	59,725	62,560	61,255	68,040	69,628	80,046	88,566	◎	



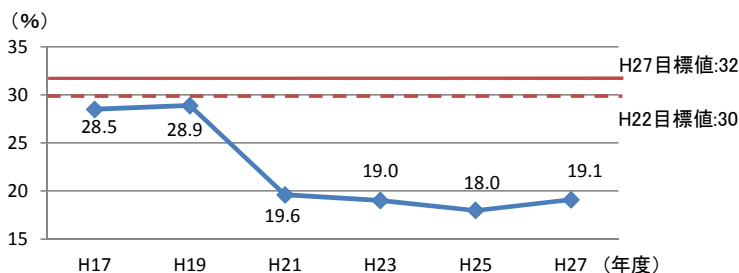
【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「岡山の文化財の現地公開や文化財をテーマにした講演会・講座などへの参加者数」

○「文化財の親しみ度」は、昨今の歴史ブーム等を背景に増加を続け、平成27年度の実績値は、目標値68,000人に対し138%の88,566人となりました。

(2) 生活に文化を楽しむ

⑤3 文化振興・歴史保存活用の満足度(%)

基準値	実績値					達成度
H17	H19	H21	H23	H25	H27	
28.5	28.9	19.6	19.0	18.0	19.1	×



【周期】 2年
 【出典】 市民意識調査
 「文化活動の振興や歴史文化資源の保存・活用の満足度」
 「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

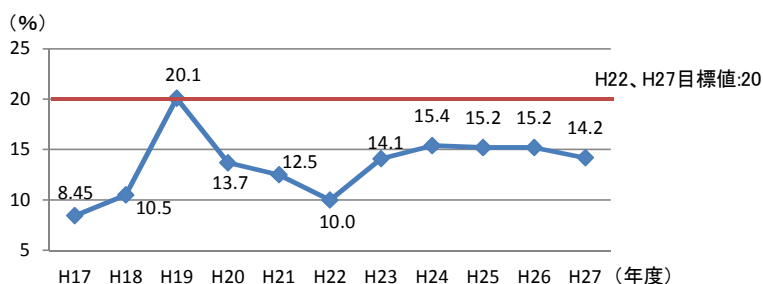
○「文化振興・歴史保存活用の満足度」は基準値から9.4ポイント低下し、平成27年度は19.1%にとどまっています。文化振興や歴史資源の保存活用が全国的に活発化し、市民の期待も高まる中、本市では、多くの文化施設や文化財が集積しているにも関わらず、それを十分活用できていないことが満足度低下の要因になっていると考えられます。

(2)生活に文化を楽しむ

⑤4 市民の文化活動参加度 (%)

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
8.45	10.5	20.1	13.7	12.5	10.0	14.1	15.4	15.2	15.2	14.2	△

H22のみ(国民文化祭を含めると14.9)



【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「岡山市芸術祭・音楽祭来場者数(延べ人数)の全人口比率」

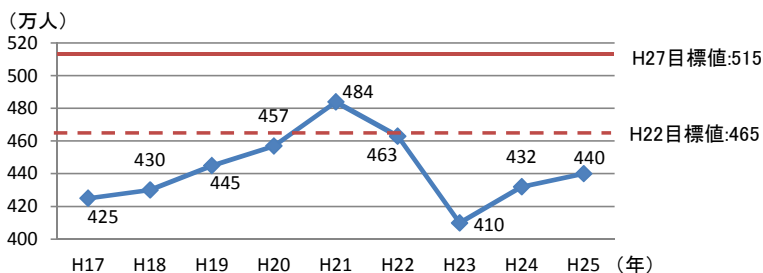
〇「市民の文化活動参加度」は目標値に到達していないものの、基準値の8.45%から14.2%へと増加しています。

(3)岡山の光を発信する

⑤5 岡山の魅力発信度(年間観光客数(万人))

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
425	430	445	457	484	463	410	432	440			△

※H24から算出方法が変更となり、H25までの数値が比較可能

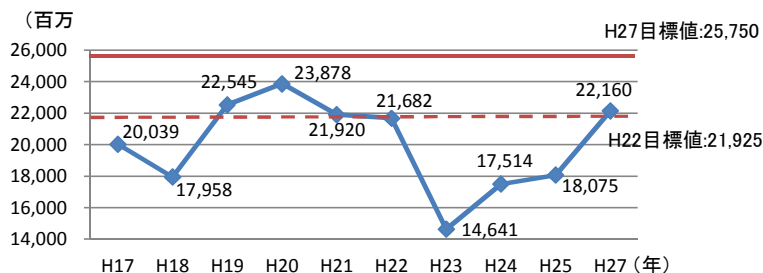


【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「観光入り込み客数及び観光消費額」

〇「年間観光客数」は、平成23年度に東日本大震災の影響で基準値以下に落ち込みましたが、その後、増加傾向に転じています。

⑤5 岡山の魅力発信度(年間観光消費額(百万円))

基準値	実績値										達成度
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
20,039	17,958	22,545	23,878	21,920	21,682	14,641	17,514	18,075	22,160	○	



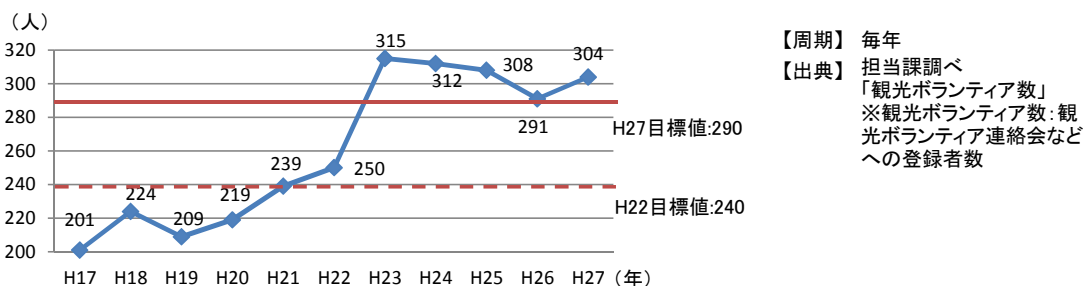
【周期】 毎年
 【出典】 担当課調べ
 「観光入り込み客数及び観光消費額」

〇「年間観光消費額」は、平成23年度に東日本大震災の影響で基準値以下に落ち込みましたが、その後、増加傾向に転じ、震災前、平成21、22年度の水準を超えることができました。

(3)岡山の光を発信する

⑤⑥ 観光ボランティア数 (人)

基準値	実績値										達成度	
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		H27
201	224	209	219	239	250	315	312	308	308	286	304.0	◎



○「観光ボランティア数」は、「おもてなし」についての市民意識が向上し、平成23年度以降、平成27年度目標値290人を超え、300人前後で推移しています。市民参加のもと、本市の優れた文化・観光資源を一層光り輝かせ、発信していくことが求められています。

(参考)

